

熱帯寄生虫学分野

A 欧文

A-a

1. Adachi K, Davis M: T-cell receptor ligation induces distinct signaling pathways in naïve vs. antigen-experienced Tcells. Proc Natl Acad Sci USA 108(4): 1549-54, 2011 (IF: 9.771)
2. Matsuzaki-Moriya C, Tu L, Ishida H, Imai T, Suzue K, Hirai M, Tetsutani K, Hamano S, Shimokawa C, Hisaeda H: A critical role for phagocytosis in resistance to malaria in iron-deficient mice. Eur J Immunol 41: 1365-1375, 2011 (IF: 4.942)
3. Nakayama M, Hamano S, Yoshida H, Yoshimura A, Kobayashi T: Aberrant IL-4 production by SOCS3-overexpressing T cells T cells during infection with *Leishmania major* exacerbates disease manifestations. Int Immunol 23(3):195-202, 2011 (IF: 3.301)

B 邦文

B-b

1. 原田倫世、濱野真二郎：アメーバ赤痢やクリプトスポリジウム症の現状と最新の知見、**化学療法の領域** 2011; 27(4): 72-79.

B-d

1. 濱野真二郎：顧みられない病気に関する研究. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）分担研究報告, 2011
2. 濱野真二郎：長崎大学グローバル COE プログラム「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略」平成 22 年度成果報告書, 2011

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	1	1	14

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
濱野真二郎・教授	国際科学技術推進委員	科学技術推進機構
濱野真二郎・教授	動物実験委員会委員	長崎大学
濱野真二郎・教授	熱研付属感染動物実験施設運営委員会委員長	長崎大学・熱帯医学研究所
濱野真二郎・教授	熱研付属感染動物実験施設長	長崎大学・熱帯医学研究所
濱野真二郎・教授	外国人留学生後援会評議員	長崎大学
濱野真二郎・教授	評議員	日本熱帯医学会
濱野真二郎・教授	評議員	日本寄生虫学会

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
濱野真二郎・ 教授	日本学術振興会	代表	基盤 (B) 海外 南アジアにおける赤痢アメーバ症のゲノム疫学および免疫学的コホート研究
濱野真二郎・ 教授	日本学術振興会	代表	基盤 (C) リーシュマニア症の発症に及ぼす体内環境因子の影響評価とその解析
濱野真二郎・ 教授	文部科学省	分担	グローバル COE プログラム、熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点
濱野真二郎・ 教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 海外 潜在性結核の検出と、結核の発症予知技術の確立を目指した、ケニア国における調査研究
濱野真二郎・ 教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業) 顧みられない病気に関する研究
濱野真二郎・ 教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	共同研究 「尿を検体とするフィラリア症免疫診断法の開発と流行地での応用」
濱野真二郎・ 教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	共同研究 「赤痢アメーバの PAMPs に関する研究」
濱野真二郎・ 教授	武田科学振興財団	代表	医学系研究奨励 マウスモデルを用いた赤痢アメーバに対する感染防御機構の研究
加藤健太郎・ 助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 糖ペプチドを用いた腸管寄生原虫による糖鎖認識機構の解明

その他

(各研究分野でアピールしたいものを自由に記載してください。原則として様式は自由ですが、新聞等に掲載された活動等を記載する場合は次の表により作成願います。)

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
濱野真二郎・ 教授	非常勤講師	九州大学	4月12日	医学部学生への講義
濱野真二郎・ 教授	非常勤講師	山口大学	11月10-11日	医学部学生への講義